



学府考研

中国最严格、最专业、最权威



理工社®

2008-2015

考研日语

历年真题详解及全真模拟8套卷

主编◎张纪才

策划◎考研日语命题研究组

- ◆ 八年真题精选汇编
- ◆ 答案解析精确透彻
- ◆ 答题技巧深入点拨
- ◆ 八套模拟强化训练



扫描书中二维码，听名师讲课
掌握核心考点，实现快速提分



北京理工大学出版社

BEIJING INSTITUTE OF TECHNOLOGY PRESS

2008-2015 考研日语

历年真题详解及全真模拟⑧套卷

主编◎张纪才

策划◎考研日语命题研究组



北京理工大学出版社

BEIJING INSTITUTE OF TECHNOLOGY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

考研日语历年真题详解及全真模拟8套卷 / 张纪才主编. —北京:北京理工大学出版社, 2016.7

ISBN 978 - 7 - 5682 - 2540 - 3

I. ①考… II. ①张… III. ①日语 - 研究生 - 入学考试 - 题解 IV. ①H369.6

中国版本图书馆CIP数据核字(2016)第150776号

出版发行 / 北京理工大学出版社有限责任公司

社 址 / 北京市海淀区中关村南大街5号

邮 编 / 100081

电 话 / (010)68914775(总编室)

(010)82562903(教材售后服务热线)

(010)68948351(其他图书服务热线)

网 址 / <http://www.bitpress.com.cn>

经 销 / 全国各地新华书店

印 刷 / 北京市通县华龙印刷厂

开 本 / 787毫米×1092毫米 1/16

印 张 / 23

字 数 / 465千字

版 次 / 2016年7月第1版 2016年7月第1次印刷

定 价 / 57.80元

责任编辑 / 王春雨

文案编辑 / 王春雨

责任校对 / 周瑞红

责任印制 / 边心超

P 前言

reface

《考研日语历年真题详解及全真模拟 8 套卷》是为报考硕士研究生的非日语专业考生编写的辅导教材。本书以教育部制定的《2016 年全国硕士研究生入学日语考试大纲(非日语专业)》为依据,对考研日语自有新题型以来的八套真题进行详细讲解。同时,编者根据长期教学经验和辅导硕士研究生入学考试的实践,编选了八套全真模拟试题,并进行了解析。

真题详解部分收录了自 2008 年至 2015 年的八套真题。基础知识与阅读理解部分附有文本翻译,解析部分在分析知识点的同时,给出解题思路与知识点讲解。这样的解析方式,不仅帮助考生理解文章大意,同时还能复习历年考题中的重点语法与词汇知识。

全真模拟试题部分严格按照真题题型,细致筛选每篇选编文章,其中包括目前考试中频繁出现的如环境保护、资源再利用、经济、人生观、文化等社会热门话题方面的文章,并在每一套模拟题的答案部分给出了精炼的解析,方便考生查阅核对。

本书有如下两大特色:

1. 收录全面,解析翔实。本书收录了除 2016 年的考研日语 203 自 2008 年采用新题型以来的所有真题,解析翔实,是一本适合全方面掌控真题思路的习题全书。

2. 严参标准,题量充分。编纂的八套全真模拟题中,日语基础知识运用部分选用的八篇完形填空均为社会热点类文章,部分为名家名作节选,每篇均附有出处;阅读理解部分收录广泛,并精炼地给出了答题关键;日译汉所选篇章均出自日本权威报纸《朝日新闻》编辑部集体撰写的时事类短文,内容涉及日本社会的诸多方面;作文部分内容丰富,给出优秀范文,有助于考生模仿写作,并掌握写作技巧,提高写作能力。

《考研日语历年真题详解及全真模拟 8 套卷》是重要的备考资料之一,利用价值极大。本

书将历年真题搜集起来,认真归纳每道考题所考的核心知识点。当做完八套真题后,考生们会发现有一部分知识点几乎在每年的考题中都会考查,这就是我们平时备考需要攻克的重点和高频考点。只有掌握每个科目的复习重点,备考时才能“好钢用在刀刃上”,不偏失方向。同时,我们希望考生能够利用全真试题模拟考场环境,锻炼独立思考的能力与合理安排考试时间的能力,并结合自己的答题习惯,总结答题技巧。

只要广大考生能够有效学习利用历年真题和模拟题,通过反复的思考与总结,一定能在考试中取得优异的成绩,并进一步提高日语水平。预祝考生朋友们在考试中旗开得胜,轻松过关!

由于编者水平有限,书中难免出现遗漏、错误以及不足之处,恳请广大读者批评斧正。

编 者

2016 年 6 月

C 目 录

Contents

第一部分 历年真题与详解

2008 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	2
答案与解析	13
2009 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	31
答案与解析	42
2010 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	62
答案与解析	73
2011 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	90
答案与解析	101
2012 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	120
答案与解析	131
2013 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	149
答案与解析	160
2014 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	178
答案与解析	189
2015 年全国硕士研究生入学统一考试日语试题	204
答案与解析	216

第二部分 模拟试题与解析

全真模拟试题(一)	238
-----------------	-----

答案与解析	248
全真模拟试题(二)	253
答案与解析	265
全真模拟试题(三)	270
答案与解析	280
全真模拟试题(四)	285
答案与解析	295
全真模拟试题(五)	300
答案与解析	309
全真模拟试题(六)	314
答案与解析	325
全真模拟试题(七)	330
答案与解析	341
全真模拟试题(八)	346
答案与解析	356

第一部分

历年真题与详解

全国硕士研究生入学统一考试日语试题

2008年

I. 基礎知識(20 点)

次の文章を読んで、1～20の間に答えなさい。答えは選択肢[A][B][C][D]からもっとも適切なものを一つ選びなさい。

人と物の関係を端的に示す例がある。ある外国人女子学生が日本の農村社会での人間関係、行動、習慣を観察すること(1)目的に、長野県の民家に同居し、調査活動をしていた。その家の大家さんは親切な人で、いろいろと面倒を見て(2)。私は、その学生に日本語を教授する仕事を引き受けていたが、ある日彼女は(3)ことを言い出した。

「おととい、大家さんと喧嘩をして、大家さんはそれから一言も口をきいてくれなくなった。一体どうしてでしょうか」というのである。事情を詳しく尋ねてみると、(4)、おととい大家さんから借りていたストーブが何かの加減で故障してしまったので、持って行き、壊れましたと渡した途端、大家さんは不機嫌になってしまった、というのである。私はそのとき、実際にどんな言葉遣いをしたのかを確かめてみた。返答は「この前から借りていたストーブが壊れてしまいました」である。

私は、大家さんの人柄や普段の言語行動についても尋ねてみた。親切だが、(5)世話やきの感じのするタイプであるらしい。そこで私はそのストーブの故障の原因について尋ねてみた。(6)その女子学生は、「理由はよく分からないが、その朝、火をつけようとするとなくなっていました。だから壊れましたと言いました」と言うのである。次に私は、「壊れました」と「壊しました」の表現法の違いについて本人に尋ね、そのことで話しあう(7)。「壊れました」と「壊しました」は、文法的に言えば、他動詞表現と自動詞表現の差に過ぎない。しかし、そこでコミュニケーション上問題になるのは、実は、どちらを選択するかということが、物と人との関係の中で、相手に対する自分の態度を明確に表してしまう(8)。彼女はその点(9)考えが及ばなかったわけである。「壊しました」という表現は、確かに、壊れた(10)自分は何らかの責任を持っている場合に限られるであろう。(11)「壊れました」は、物自体が壊れた状態を客観的に示すわけである。(12)、物が実際に壊れ、しかも壊れたことに対して当事者が責任を感じないならば、「壊れました」と表現しても何ら差し障りはないわけである。

しかし、この二表現のうち、非常に日本的な言葉遣いをする人であれば、たとえ、故障の原

因が不明で自分の責任の有無も不明であったとしても、恐らく「壊しました」という表現を選択するであろう。そのストープは相手に属するものであるから、それを借り受けているという関係の中で、壊れたことに対する責任を自分は感じているんだということをとにかく表明するわけである。(13)、物自体がそもそも不良で、その結果壊れてしまった場合でも、この「壊しました」という自己に責任のある表現形式を選択することが多いと言えよう。

(1) ~ (13)に入れるのにもっとも適切なものはどれか。

1. [A]が [B]へ [C]は [D]を
2. [A]あげていた [B]もらっていた [C]くれていた [D]やっていた
3. [A]こんな [B]そんな [C]あんな [D]どんな
4. [A]本来は [B]実は [C]元は [D]実際は
5. [A]なぜかという [B]なにかという
[C]どれかという [D]どちらかという
6. [A]そうしているうちに [B]そうすると
[C]そうこうしているうちに [D]そうなると
7. [A]ことにした [B]ことになる
[C]ようになる [D]ようになった
8. [A]というのである [B]といったからである
[C]ということである [D]といったことである
9. [A]にまで [B]にでも [C]までに [D]までで
10. [A]にとって [B]にしては [C]に対して [D]につれて
11. [A]また [B]一方 [C]では [D]しかも
12. [A]そして [B]それに [C]ところで [D]したがって
13. [A]よく言えば [B]うまく言えば
[C]曖昧に言えば [D]極端に言えば

14. 文中の「何かの加減で故障してしまった」の「加減」に当たる解釈はどれか。

- [A]程度 [B]契機 [C]具合 [D]理由

15. 文中の「渡した途端」に当たる解釈はどれか。

- [A]渡したその時 [B]渡す直前
[C]渡した後 [D]渡しているところ

16. 文中の「限られる」の「れる(られる)」と同じ使い方のものはどれか。

- [A]宮崎アニメは子供のみならず、大人にも愛されている。
[B]食べられない物をそんなにもらっても仕方がない。

[C] 木村先生は中国語研修生を引率して上海に行かれた。

[D] 外出直前に彼女に來られてほんとに困ってしまった。

17. 文中の「人であれば」の「ば」と違う使い方のものはどれか。

[A] ちゃんと説明すれば、分かってくれるはずです。

[B] 最後まで一生懸命頑張れば、きっと成功する。

[C] 東北地方は今寒いが、春が来れば暖くなる。

[D] 勉強する学生もいれば、あまりしない学生もいる。

18. 文中の「属するもの」の「もの」と同じ使い方のものはどれか。

[A] 母は来週来る予定でいますが、一日も早くきてほしいものです。

[B] ほしいものは何かと聞かれても、すぐには思い出せないものです。

[C] 私は長女ですもの、弟の心配をするのは当たり前でしょう。

[D] あの店は国営なので、あそこに並んでいるものは安心して買える。

19. 文中「機嫌」の読み方はどれか。

[A] きかね

[B] きけん

[C] きげん

[D] きがね

20. 文中「人柄」の読み方はどれか。

[A] ひとから

[B] ひとがら

[C] じんへい

[D] にんへい

II. 読解(55 点)

A. 次の文章の[一][二][三][四]を読んで、21~40の間に答えなさい。答えは選択肢

[A][B][C][D]からもっとも適切なものを一つ選びなさい。(2 点×20=40 点)

一

読者にとって、原稿が手で書かれていようが、パソコンで作られていようが、ほんとは何の関係もないことだ。最終的には活字体の文字となって、印刷された形となってくるのだから。

今、人々が一般的に、どういった方法で文章を書いているかは定かではないが、少なくとも僕は、ほんの些細なメモ以外は、ほとんどすべてパソコンで文章を書いている。いや、書いているというのは正しくない。打っているのだ。この二十年近く、手で文章を書くことから遠ざかっていた。もちろん、それは、パソコンを使ったほうが、手で書くよりも、簡単に文章ができるからである。そして、文章化した後の工程も電子化されていることが多いので、(つまり、電子メールなどで送ること)そっちにいつても簡単だというわけだ。

しかし、簡単だからといって、こうした電子機器を安易に多用することの弊害はもちろんあるのだろう。いろいろなところで言われているように字を忘れたり、文章が平板に

なったり、無味乾燥になりがちだというようなことだ。とはいえ、弊害が多々あるからといって、じゃ、すべて手書きに戻し、今の便利さを捨て去ることができるかと言えば、それはそうではない。やっぱり、世の中の流れとしては、どうしても容易、便利さが優先されてしまう。

もう一つ、ぜんぜん別の角度からの弊害もあることに気がついた。それは、本来、手で書くということは、書道という芸術があることで、示されているように、楽しきでもあったのに、その楽しさを忘れさせてしまうということだ。もともと、初めはビジネス上の文章だった。書き直したり、清書したりするのが簡単だという、ほんとに(21)怠け者の精神が、僕から快樂を取り上げたのだ。そして、いつしか、私信までパソコンのお世話に。

最近では、Eメールの進展から、文章をプリントすることなく、直接誰かに送る、ということも誠に当たり前ようになってしまった。これでは、(22)活字離れということが本当に心配されるのも無理はない。しかし、よく考えてみると、手書きから電子化への過程で、きっと文章は変質していったことだろう。文章から文書へと。これは実はとっても大変なことではないであろうか。近頃では、作家の中にも、パソコンで仕事をしている人が増えていると聞く。まあ、プロの皆さんですから、もちろん、これはいらぬ心配なのだろうけれど、手で書くことと、指で打つことの間には、結構な違いあるように思う。だから、今回、僕は手で書いてみることにしたのだ。そう、(23)人体実験というやつだ。

21. 文中の「怠け者の精神が、僕から快樂を取り上げた」とあるが、それはどんな意味か。

- [A] パソコンのおかげで、文章が簡単に書けるようになって楽しさが増した。
- [B] パソコンのせいで、いい文章が書けなくなり、楽しさが減少してしまった。
- [C] パソコンのおかげで、苦勞せずに文章が書き上げられる快樂を感じている。
- [D] パソコンのせいで、苦勞せずに文章が書けると同時に、快樂がなくなった。

22. 文中の「活字離れ」の原因として、最も適切なものはどれか。

- [A] 作家の中にもパソコンで仕事をする人が増えてきた。
- [B] 手書きから電子化への過程で、文章が変質していった。
- [C] Eメールの発達で、文章をプリントせず送るようになった。
- [D] 字が書けなくなるだろうという、いらぬ心配をしなくなった。

23. 文中の「人体実験」とはどういうことか。

- [A] 果たして心配事がどの程度であるかを、自ら体験してみる。
- [B] プロ作家の手書きとパソコン打ちことの楽しさを体験してみる。
- [C] 手で書くこととパソコンで打つことの楽しさを体験してみる。

[D] 久しぶりに手で書き、パソコン打ちとの違いを実感してみる。

24. パソコンを使って文章を書く弊害は、どんなものだと言っているか。

[A] 文章が単調で、おもしろみがなくなってしまうがちになる。

[B] 書き直しと清書が簡単にできなくなり、書道が衰える恐れがある。

[C] 文章が簡単に書けなくなり、安易に電子機器を多用するようになる。

[D] 書いたものを電子化することが難しくなり、文章の質が落ちる恐れがある。

25. この文章で筆者がもっとも言いたいことはどれか。

[A] 弊害が多いため、便利ではあってもパソコンの過度使用は慎むべきだ。

[B] パソコンの使用は書道の楽しさを失う恐れがあるため、やめるべきだ。

[C] すべて手書きに戻すのは無理であるが、手書きを優先させた方がいい。

[D] パソコンの容易さ、便利さは否定できないが、その弊害も否定できない。



扫一扫, 看视频

少し前のことですが、こんな記事を新聞で読んだことがあります。小学三年生の子どもを毎日プールに連れてきている母親の話。なぜ、そんなことをするのか。「将来の受験のために体力を作るのです」というのが、その答えです。子どもの時代は受験のための待ち時間に過ぎない、ということなのか。受験地獄という言葉があります。教育の歪みも、いまでは、(26) ここまできたのか。——これが、その記事を読んだ時の率直な印象でした。

もちろん、限られた人生ですから、未来のために長い目を持ち、しっかり準備することは、大切です。しかし、(27) それが行き過ぎますと、現在という時が、つねに(28) 固有の意味を失って、将来のための準備の時になってしまう。そうすると、現在をほんとうに大切に生きることが、見逃される恐れが出てきはしないでしょうか。もし(29) そんな形で、それぞれの時期に固有の意味を持った人間形成ができないのなら、うまく成長できず、幼児的な人間が作られるだけではないでしょうか。そして未成熟の大人になり、老化していくだけの人生になるのではないのでしょうか。

実際、最近の子どもたちは勉強に追われて遊ぶことを忘れ、学校でもクラブ活動をあまりしたがないということをよく聞きます。そこからはいろいろな問題が出てくるように思えるのです。

普通、子どもたちは遊ぶ時に自分で創意工夫して、想像力を働かせ、豊かな世界を創りだすものです。たとえば、部屋の隅にぶら下がっている使い古した箒を跨ると、それが馬に化ける。あるいは広場に転がっている板切れが魔法に鏡に化ける。そのように、子どもたちは、もともと自由な創意を加えて楽しく遊ぶ術をよく知っている世代です。自由な遊びを通し

て彼らは想像力を養い、また集団の行動を通して仲間づくりの力や、あるいはリーダーシップの能力を開発されもするのです。

こうした遊びの世界や自由に遊ぶ喜びを忘れるということは、子どもの時代に身につけるべき社会性や創造性が失われてしまうことを意味しています。ひいては、非個性的な人間になってしまうのが楽でしょう。

26. 文中の「ここ」の指すところはどこか。

- [A] 教育が歪んでくるところ。
- [B] 受験地獄という言葉が作られるところ。
- [C] 小学三年生の子どもを毎日プールに連れてくるところ。
- [D] 子どもの時代は受験のための待ち時間にすぎない、と考えるところ。

27. 文中の「それ」の指すところはどこか。

- [A] 未来のことを頭に置きながら、若い時から準備すること。
- [B] 限られた人生を大切に毎日楽しく過ごすこと。
- [C] 未来のことを頭に置きながら、若い時から体力を作ること。
- [D] 未来のために長い目を持って人生の計画を立てること。

28. 文中に「固有の意味」とあるが、その意味は何か。

- [A] 若い時代、毎日の努力によって生まれた意義。
- [B] 現在ではなく未来という時点にだけ人生特有の意義。
- [C] それぞれの時期に習うべきものを身につける体験や楽しさなど。
- [D] 将来のためにしっかり準備していろいろと体験するおもしろさ。

29. 文中の「そんな形」とはどんな形か。

- [A] 現在を大切に生きていく形。
- [B] 現在を大切に生きることを見失う形。
- [C] 将来のことより現在のことを重視する形。
- [D] 将来のためにしっかり準備していろいろと体験する面白さ。

30. この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- [A] 子どもの頃から将来の受験に備えて体力を作るのは大切なことである。
- [B] 人生というものは、その時その時を大切にすることが必要である。
- [C] 人間は、幼少から創造性を持っていなければ、人生の意味を失ってしまう。
- [D] 子どもに自由な遊びをされるため、クラブ活動は極力控えるべきである。



扫一扫,看视频

トーストの焼き上がりがよく 我が部屋の空気 ようよう夏になりゆく
この一首は、朝食のパンを焼いていて「あっ」と思った。それまでは五分か
かっていたトースト(烤面包片)が、今朝は四分半で、しかもぱりっと焼けて
いる。こんなところにも夏が来ているんだなあ、という心の揺れ。

実はこの歌には、遠いところで下敷きになっている記憶がある。子どもの頃、母は毎朝、家
族それぞれの好みに合わせて半熟、三分熟と卵をゆでてくれた。「すごいなあ」と私は感心
したものである。

ある日のこと、寒い寒い朝を迎えた。「お水もずいぶん冷たいわねえ。いつもより長めに
ゆでなくっちゃ」と母。半熟なら何分、という単純なことではなく、水温によっても、ゆで時
間は変わってくるのだ。

卵のゆで時間にも反映する季節の移り変わり。(31) へえっなるほど、と思った。その時
の「へえっ」が心の底のほうに沈殿していたのだろう。トーストの焼け具合が違うことに気
づいた時、ぱっと「卵のゆで時間」の記憶が浮かんできた。

こんなふうには、いくつか似た経験が重なって「揺れ」の輪郭がはっきりしてくることも多
い。「あっ」と声は出さないまでも、その「揺れ」がいつかは言葉という語りになるときが、き
っと来る。私は、そんなふうなまだ形になっていない「あっ」という小さな断片を、(32) 感動
の貯金と呼んでいる。すぐには使えなくても、しっかり貯めておくことが大切だ。

私自身のことを振り返ってみると、とても(33) 大きな貯金箱となったものがある。

学生時代、家族に当てて、せっせと葉書を書いた。東京に出てきて、初めての一人暮らし。
寂しくて仕方なかった。家族とのなんでもない日常会話が、突然なくなってしまったこと
が、一番こたえる。朝起きて「おはよう」という人がいない。「今日こんなことがあってね
ー」と無駄話をする人がいない。(34) そういうものの良さというのはなくなって初めて初め
て分かる。

葉書は、言ってみれば日常会話の代わりとして書き続けられたのだと思う。内容は、肉の
安いスーパーを見つけたとか、東京の人は雨が降ってもあんまり傘をささないみたいだとか、まことに取るに足りないものばかり、けれどそんな日常雑記のなかに、何年か後、形を変
えて歌になったような感覚が、ひょっこりと混ざっていたりするのだ。

「だんだん暑くなってきました。朝起きると汗をかいていたりします。でも、暑いねーと
話しかける人もいないので、ただ黙って朝ごはん。これがやっぱり寂しいなあ。」

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ

この歌は、実はずっと後で、恋の場面で生まれたもの。が、遠く学生時代の葉書にも、すで

に(35)歌の種はあったことが分かる。答える人のいない寂しさを味わったことのある心だからこそ、答える人の温かさに、揺れることが出来たのだ、と思う。

31. 文中の「へえっなーるほど、と思った」理由としてもっとも適切なものはどれか。

- [A] 母親が、子どもの好みに合わせて卵のゆで方を自由に変えたから。
- [B] 母親が、卵の中身をまるで知っているかのように上手にゆでたから。
- [C] 卵のゆで時間には、季節の微妙な変化が影響することを知ったから。
- [D] 卵のゆで方には半熟、三分熟などのゆで方があることが分かったから。

32. 文中の「感動の貯金」の内容としてもっとも適切なものはどれか。

- [A] 一つ一つの小さな感動を、大切に心の中にとどめ蓄えておくこと。
- [B] 一つ一つの感動した思い出を、日記に記録して保管しておくこと。
- [C] 一つ一つの日々の感動的な成長を、記憶して保管しておくこと。
- [D] 一つ一つの細やかな感動を、言葉という形で記録し蓄えておくこと。

33. 文中の「大きな貯金箱」の具体的な内容はどれか。

- [A] 学生時代の葉書。
- [B] 家族との無駄話。
- [C] 家族との会話。
- [D] 初めての一人暮らし。

34. 文中の「そういうもの」とは何を指しているか。

- [A] 一人暮らしをして感じた郷愁
- [B] 家族とのなんでもない日常会話
- [C] 非常に大切だと思う家族との会話
- [D] せっせと家族に当てて書く大切な葉書

35. 文中の「歌の種」と考えられるものはどれか。

- [A] 心の記憶
- [B] 季節を感じる心
- [C] 心の揺れ
- [D] 恋の心

四

社会が複雑になって分業が進み、生活に必要なことの多くを他人の手に委ねるようになると、人間の思考はバランスを失い、価値判断に前後の脈絡がなくなります。そのような社会現象がリサイクルに及び、「環境主義の両価性矛盾」を生み出しています。

「両価性」とは、本人がそうと気づかぬまま、同時に正反対の行動をとることを言います。たとえば、ケーキの食べ放題(自助餐)に夢中になりながら、ダイエットに精を出すといった行動です。

リサイクルは環境を守り、資源の枯渇を防ぐことをその目的としているので、環境に優し

いことを標榜する製造メーカーは「製造量、販売量を少なくする。製品の寿命を延ばす」ことに全力を尽くすはずです。(ア)、現実には本音で原産、販売量の減少を目標としている会社はまずありません。むしろ、増産、販売量の増大を計画している場合がほとんどです。これは両価性です。(中略)

産業界全体を覆うこの両価性矛盾は、新聞などのマスコミにも広がっています。(中略)個人でも、(37)会社では企業人として増産に知恵を絞り、家庭では市民としてもものを儉約するという例が見受けられます。

本来、正常な人間は価値観の違うことを同時にすることにストレスを感じるものです。しかし、現在の日本では社会自体が大きな矛盾を抱えているので、両価性が直接的なストレスにならず、じわりじわりと社会を蝕んでいると言えるでしょう。

両価性矛盾は環境保護活動全般に及んでいます。その著しい例が、「リサイクル推進派の人間で(38)現実にはリサイクルをしている人はまれだ」という現象です。ほとんどの人はペットボトルをリサイクル箱に入れたり、新聞紙を束ねて出したりしているだけで、実際にはリサイクルをしていないのです。

ペットボトルをリサイクルするというのは、自分でペットボトルを回収工場まで持って行き、そこできれいに洗ってラベルをはがし、キャップをとって成型機で成型し、もとのペットボトルにすることです。また、紙をリサイクルするというのは、「紙を束ねて出す」のではなく、自分で薬品を使ってインキを除き、夾雑物を取り去り、短い繊維を除き分け、抄いて紙にすることです。

かつて江戸時代に行われたリサイクルのほとんどは、自分でするリサイクルでした。そのためにリサイクルの苦勞も体感していたし、リサイクルすることによってかえって生産を阻害することは避けました。もちろん、他人に向かって「私はリサイクルしている」などといったポーズをとることなど、考えもしなかったでしょう。

物事が現実のものとして感じられるときには、両価性は消えていきます。

36. 文中の(ア)に入れるもっとも適切なものはどれか。

[A]そこで [B]あるいは [C]しかし [D]したがって

37. 筆者は「会社では企業人として増産に知恵を絞り、家庭では市民としてもものを儉約する」人がストレスを感じないのはなぜだと言っているか。

[A]現代のような複雑な社会では、正常ではない人間もいるから。

[B]個々の価値観による行動の不一致は社会を少しずつ蝕むから。

[C]分業が進み複雑になった社会では、ある程度矛盾が生ずるのは仕方ないと思うから。

[D]大きな矛盾を抱えている社会では、正反対の行動をしても矛盾に気づかない